

# 琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 要人往来 米国要人その他

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43339">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43339</a>

アソガ、高算、舟務官、上京、  
41、  
10、  
42、  
23

米次へ

外務省

米次  
の  
要  
請  
に  
よ  
り



機合第4586号

昭和41年11月10日

外務大臣官房儀典長

在沖繩米國高等弁務官夫妻に  
對する便宜供与依頼について

下記米訪者の出入國に際し、出入國、通關及  
び検査手續ならびに送迎者の立ち入りにつきよ  
ろしく便宜供与方お取り計らい願います。

記

1. 氏名(官職)

Ferdinand Thomas Unger 中将(在沖繩アメリ  
カ合衆國高等弁務官)及び同夫人

2. 來日目的

富中團遊会出席のため

外務省

3. 船名日時及び搭乗機名

11月11日(金)10時30分着 米軍特別機

11月12日(土)12時00分発 同機(沖縄向)

4. 送迎者

在京大使館代表

5. OIQ手續

大使館代表(Armstrong 二等書記官他)によ  
る代行を認められたい。

本信送付先 東京國際空港長、羽田入國管理事務所長、  
東京税關羽田税關支署長、東京空港検査  
所長

本信琴送付先 東京空港警察署長

(北米局長) X  
 (新聞関係者) X  
 議典長室 河村事務官  
 北米局長(博長)宛に  
 通報す。

昭和42年9月21日

各 局 部 長 殿  
 儀 典 長

宮中お催しの園遊会に招待さるべき外国人について

きたる11月10日(金)赤坂御苑において天皇・皇后兩陛下がお催しになる恒例の園遊会に招待さるべき外国人中、次の各項のものについては、外務省において人選の上推薦ありたい旨宮内庁式部職より依頼があつたので、下記要領により候補者を選定し、10月10日までに当方へ御通報願いたい。

記

被招待者	人選担当者
イ 駐留軍人	北米局長
ロ 新聞通信関係者	情文局長

ハ 賠償使節団長	賠償担当審議官
ニ 国連及び国際赤十字機関長	国連局長
ホ 著名旅行者及び功勞者	各局部長 儀典長

- 注1. 上記人選にもとづく被招待者数は、総計約20組である(夫妻及び18才以上の娘を一組とする)。
- 候補者多数の場合は優先順位を付せられたい。
  - 候補者氏名には欧文を併記されたい。
  - 客年においては、各局部から推薦された候補者について、更に人選を行ない、下記の21組を当省から宮内庁に推薦した結果、その全員が招待された。御参考まで。

記

1. 在日アメリカ合衆国軍司令官兼在日アメリカ合衆国空軍司令官セスJ・マッキー空軍中将同夫人
2. 在日アメリカ合衆国陸軍司令官ロイドE・フェレンツ陸軍少将同夫人
3. 在日アメリカ合衆国海軍司令官フランクL・ジョンソン海軍少将同夫人
4. 在日アメリカ合衆国軍事顧問団長カイルL・リードル空軍准将同夫人及び娘ダイナS・リードル
5. 国際連合広報センター所長ジェー・ロバート・ハービン同夫人
6. 国際連合開発計画駐日代表チャールズ・パーソンス・H・ホームズ同夫人
7. 赤十字国際委員会駐日代表部代表ハクー・C・アングスト同夫人
8. アジア極東防衛研修所所長ヴァリブラム・ナラヤーナ・ビレイ同夫人

9. ビルマ賠償使節団団長代理オン・テ・同夫人
10. フィリピン賠償使節団団長代理ジーサス・Fエバンヘリスタ同夫人
11. インドネシア賠償使節団団長アブドール・ハビール同夫人
12. 韓国賠償使節団団長関忠植同夫人
13. 日本外国特派員協会会長フランク・デヴァイン同夫人
14. 国際原子力機関事務局長シグバルト・エクラント同夫人
15. チェルヌスキイ美術館長(フランス)ヴァシル・エリセフ
16. 東アジア美術館長(ドイツ)ローゲル・ゲッベル同夫人
17. カンボディア国立中央銀行総裁(元蔵相、外相、前副総理。シハヌーク元首の名代として訪日)ソン・サン同夫人
18. カンボディア国立中央銀行監査役(元蔵相、商相)トツ・キム同夫人

記

1. 在日アメリカ合衆国軍司令官兼在日アメリカ合衆国空軍司令官セスJ・マッキー空軍中将同夫人
2. 在日アメリカ合衆国陸軍司令官ロイドE・フェレンツ陸軍少将同夫人
3. 在日アメリカ合衆国海軍司令官フランクL・ジョンソン海軍少将同夫人
4. 在日アメリカ合衆国軍事顧問団長カイルL・リードル空軍准将同夫人及び娘ダイナS・リードル
5. 国際連合広報センター所長ジェー・ロバート・ハービン同夫人
6. 国際連合開発計画駐日代表チャールズ・パーソンス・H・ホームズ同夫人
7. 赤十字国際委員会駐日代表部代表ハクー・C・アングスト同夫人
8. アジア極東防衛研修所所長ヴァリブラム・ナラヤーナ・ビレイ同夫人
9. ビルマ賠償使節団団長代理オン・テ・同夫人
10. フィリピン賠償使節団団長代理ジーサス・Fエバンヘリスタ同夫人
11. インドネシア賠償使節団団長アブドール・ハビール同夫人
12. 韓国賠償使節団団長関忠植同夫人
13. 日本外国特派員協会会長フランク・デヴァイン同夫人
14. 国際原子力機関事務局長シグバルト・エクラント同夫人
15. チェルヌスキ美術館長(フランス)ヴァシル・エリセフ
16. 東アジア美術館長(ドイツ)ローゲル・ゲッベル同夫人
17. カンボディア国立中央銀行総裁(元蔵相、外相、前副総理。シハヌーク元首の名代として訪日)ソン・サン同夫人
18. カンボディア国立中央銀行監査役(元蔵相、商相)トツ・キム同夫人

19. マレーシア・サバ州主席大臣ヒイター・ロ

20. マレーシア・サバ州通信公共事業大臣クウ

・ジャク・チマー

21. 琉球列島高等弁務官フェルディナンド・ト

ーマス・アンガー中将同夫人

米代

外務省

写

儀合第 3507号

昭和 42年 10月 4日

外務大臣官房儀典長

琉球列島高等弁務官

に対する便宜供与方依頼について

下記来訪者の出入国に際し、出入国、通関及び  
検疫手続ならびに送迎者の立入りにつきよろ  
しく便宜供与方お取り計らい願います。

記

1. 氏名(官職)

Ferdinand T. Unger 中将 (在沖繩米琉球列  
島高等弁務官) 及び随員 2名

(高等弁務官補佐官、民政府渉外部長代理)

外務省

- 2 来日目的  
在京米国大使館との協議のため
- 3 着発日時及び搭乗機名  
10月4日(木)17時20分着米軍用機出  
国日時については判明次第追報
- 4 送迎者  
在京同国大使館 L. M. Purnell 政務担当  
参事官及び Rodney E. Armstrong 二等書記官
- 5 CIQ手続  
大使館係官による代行を認められたい。

本信送付先 東京国際空港長  
羽田入国管理事務所長  
東京税関羽田税関支署長  
東京空港検疫所長

外務大臣 官房長官  
事務次官 官房総務参事官  
参事官 官房書記官  
近藤外務参事官 北米局長  
北米課長

裁  
無期限

アングー高等参事官が  
上京に付て  
昭和42.11.23  
米北  
11月23日在京米大使館・パネル参事  
官は、アングー高等参事官が上京し、11月28日(火)午後  
11月27日(月)午後  
まで東京に滞在する予定であることと関連して、  
アングーとあり、北米課長に電話連絡した。  
9日北米協定に付て連絡  
(1) 高等参事官によれば、共同コミニケイ発表  
後9日騒動は一応鎮静化し、松岡主席  
は、総理と話し合ひの結果を持って帰京  
し、さらに世論指導に努力している。また主席  
が社会主義問題の見送りを明白にした  
ことにより、沖繩の情勢は当面落ち着く  
方向に進むものと期待し得る由である。

字  
42



(2) たゞ高等弁務官として、日本政府  
が訪米の成果の説明のため、閣僚クラス

の代表を沖能に派遣する考えがあるとの  
報道を憂慮している。現在の時局にお

ける日本側閣僚の沖能訪問は、折角  
落着きつつある野党側には新たな攻撃の

（逆効果に）  
機会を与えておられると思われるからである。  
この点、大使館としても、日本政府の慎重な

行動を要望したい。

(3) これは、高等弁務官とも、大使とも相談  
したわけではなから、日本側が、高等弁務

官から沖能情勢について説明の聴取  
を希望されるのであれば、アレンジし得る

と思ふ。（月曜日の刻、コクテルパーティ  
北米局長とともに行うことを検討中）

(4) 高等弁務官の東京の目的は、大使  
より、日米首脳会議の結果について説明

を受けるべく、諮問委員会を設置する  
進め方について討議するにあり。

（上記は、11月23日の刻、本野、村上両秘  
書官に電話連絡済み。11月24日朝  
特選局参事官に連絡済み。）

アメリカ局長  
参事官  
北米課長

アムカー高等弁務官来日日程

27. 10. 24  
米北

アムカー高等弁務官来日日程下記のとおり。  
即参考まで。

羽田着 10月24日 21:05 NW 004

横田発 10月25日 ~~羽田~~ 軍用機  
(午後1時発)

備考

同行者 ジョージ・P. スタブラー 特別補佐官  
(Col. Joseph P. Stabler)

ミロ・D. ローエル 副官  
(Maj. Milo D. Rowel)

送迎者 在京米大使館書記官



HANKYU EXPRESS INTERNATIONAL Co., LTD.  
3,1-Chome, Yuraku-cho, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan

Lt. Gen. & Hon. UNGER

11月11日(金) 午後2時頃

(皇親会(赤坂御苑)に到着)

2時頃より由。(古局副長官より)

室内行きの9時頃

招待状は後日係員より

送迎者送迎

11/2

阪急交通社

担当 片山健一郎

TEL 201-5618-5619-9806-9807-5615-5616